



▲初雪で雪化粧された城山公園

1月15日の早朝、前日の大雪の影響で路面の至る所が凍結していました。城山公園に足を運ぶと、頬を切るような冷風と厳しい寒さのためか鳥たちのさえずりもなく、静寂に包まれていました。

【高橋 元】



▲職員にはコスト意識と経営感覚が必要

1月17日、中央公民館で「企画力をつける」と題した研修講座が開催され、約20人の市職員が受講しました。「コスト意識と経営感覚を身に付けよ」との言葉に、行政職員の意識改革に期待を募らせるとともに、一市民としても身の引き締まる思いがしました。

【福島 順一】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲市駅伝競走大会に過去最多154チーム

1月20日、市駅伝競走大会を開催し、過去最多154チームが健脚を競いました。出場者最高齢の森茂さん(78歳)は「普段マイペースに走っていますが、駅伝はチームでたすきをつなげなくてはならないので、プレッシャーを感じました。仲間とわいわいできるのは楽しいです」と話しました。



▲講演会で地域活性化が身近に

1月23日、市役所で地域活性化講演会を開催しました。内閣官房地域活性化伝道師の藤崎慎一さんを講師に迎え「まちづくりはひとつづくり～ロケとグルメによる地域活性化～」をテーマに、地域住民主体のロケーションとグルメを活用した地域活性化の先進事例から、手法を学びました。



▲楽しくみそ作り

2月7日、石井ウメさん宅(吉岡)で吉岡つくし会(橋本昌枝会長)がみそを仕込みました。32年前から十数人で楽しんでおり、こうじも自前。今回仕込んだみそは800kg以上。大豆を煮るのは大仕事ですね。量とパワーに圧倒されました。

【段木 武】



▲老人クラブがスポーツで交流

2月1日、スポーツセンターで市老人クラブ連合会のスポーツ交流の集いが開催されました。約250人71チームがカローリング、シャッフルボード、スカットボールの3種目のニュースポーツを楽しみました。

【大滝 隆司】



▲親子で作った飛行機、空に羽ばたけ

2月9日、市役所で親子手づくり羽ばたく飛行機教室が開かれました。市青少年指導員の指導で親子25組が工作に取り組みました。模様の違う飛行機が飛び交い、子どもたちは「作るのちょっと難しかったけど、よく飛んだので楽しい」と走り回っていました。

【近藤 秀敏】



▲節分ごっこで鬼退治だ

1月24日、早園地区センターで、子育てサロン「ひよこサロン」の節分ごっこが行われました。元気に遊んでいた子どもたちは「鬼のパンツ」を歌った後に登場した赤鬼と青鬼の迫力に、豆をぶつけるどころではなく、怖くて泣いてしまう子もいました。

【馬場 正勝】



▲小学校にプロのオーケストラ

2月6日、北の台小学校で神奈川フィルハーモニー管弦楽団が音楽鑑賞会を行いました。児童約500人と教職員は生演奏を鑑賞するとともに、団員による指導の下、児童との合同演奏や同校児童が作詞作曲した『「私たちだけの合唱曲」北の台小学校の歌』を披露しました。



▲珍しい地球照

冬の寒い日は、空気が澄んでいて夜明けの美しさが最高です。新月前の地球照もきれいでした。月の明るく輝く部分は太陽に照らされ、薄く光る部分は地球の照り返しです。綾西地区で撮影。

【段木 武】